

# 住生活基本計画(全国計画)の見直しの概念図

参考資料2

人口・世帯数の減少、少子高齢化等、我が国の社会経済情勢が変化し、国民の居住ニーズが多様化していく中で、国民が真に豊かさを実感できる社会を形成するために、**豊かで持続可能な住生活を実現**する。

社会経済情勢  
の変化

人口減少

世帯数減少

少子  
高齢化

家族形態  
の多様化

価値観の  
多様化

女性の  
社会進出

外国人  
居住者  
の増加

災害の  
切迫

環境・  
エネルギー  
制約

ICTの進展

都市構造  
の変化

地方の衰退

## 人の住まい方

### 住む場所に関するニーズ

職住近接、同居・近居、都心居住・郊外居住・田舎暮らし、二地域居住 等

### 住宅の種別に関するニーズ

持家一借家、戸建一マンション 等

### 家族形態の多様化 に応じたニーズ

nLDK一一室空間、一家族一住宅  
一コレクティブハウス・シェアハウス等、  
居住面積のあり方 等

### ライフスタイル・ライフステージ に応じたニーズ

若者の自己実現  
子育て層の希望に応じた家庭づくり  
高齢者等の安心・健康な暮らし 等

## 住まいのあり方

### 良質な住宅ストックの形成及び将来世代への継承

#### 住宅ストックのマネジメントシステムの確立

適切な維持管理、リフォーム・リノベーションによる質の向上、既存住宅ストックの活用促進、不良な住宅の除却の促進、良質な住宅の供給

### 目標2 ライフスタイルやライフステージに応じた多様な居住ニーズの実現

#### 多様な居住ニーズに応じた住宅の選択肢の提供

既存住宅ストックの活用促進[再掲]、賃貸住宅市場の確立 等

#### 住生活関連サービスの充実

### 目標3 住宅の確保に特に配慮を要する者の居住の安定の確保

#### 社会的弱者の居住の安定の確保

## 居住環境のあり方

### 目標4 良好的な居住環境の形成による地域の価値の向上と 豊かなコミュニティの形成

#### まちづくりと住まいづくりの連携による地域の価値の向上

#### 豊かなコミュニティの形成

実現する  
ために

実現する  
ために